

授業科目名	組織マネジメント論	担当教員	千賀 喜史
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3 年第 1 クォーター		
講義内容	民間企業や自治体など公的機関でも、組織を強くするのは、そこに所属する人である。本講義では組織における人間の行動に焦点をあて、個人の行動特性やモチベーションについて学ぶことで、強い組織、持続可能な組織を創りあげていくを考えていく。組織マネジメントのあり方は、多様な観点で研究がおこなわれているが、特に組織内の個人行動と組織の内外の管理のあり方、動機付けの問題などを掘り下げていく。		
到達目標	① 実在する企業のケースから、経営に関する基礎知識を学び、成功（または失敗の要因）に関する分析能力が得られる。 ② 中小企業における経営の仕組みや課題、実践的応用力が得られる。 ③ 自治体や非営利組織における経営資源の確保について基礎的な知識が得られる。		
授業計画	社会人経験のない学生に対し、理解と知的好奇心を促進できるように、実在する企業や組織をとりあげ、組織論の基礎と実践を学ぶ。また、個人のキャリアについても企業や組織と照らし合わせて考察する。グループワークをおこない、他の受講生の異見（異なる考え）を取り込んでいくことを目指す。また、同時に将来のキャリアと関連させて組織マネジメントを学ぶ。 第1回 オリエンテーション、授業の全体像と進め方 第2回 入社する 社会化と組織文化 第3回 会社と仕事に慣れる モチベーションとルールの関係 第4回 人事異動 会社の中のキャリアマネジメント 第5回 ケーススタディ① キャリアアンカー 第6回 部下を持つ -リーダーシップ①- 第7回 集団をまとめる -リーダーシップ②- 第8回 組織変革のための7つの S 第9回 コンフリクト・マネジメント 第10回 いざ、組織の再編へ -組織再編- 第11回 ケーススタディ② 一般企業と起業と芸能界 第12回 ついに社長就任 -経営理念とビジネスシステム-		
事前・事後学習	ケーススタディを実施する。グループ討議では役割分担を考え、時間内に一定の結論をまとめること。		
テキスト	『キャリアで語る「経営組織」第2版』稲葉 祐之、井上 達彦、鈴木 竜太、		

	山下 勝、有斐閣アルマ、2022 年
参考文献	
成績評価 の 基 準	① 各回の講義での発言やクラス貢献度(30%) ② グループ討議での貢献(30%) ③ レポート(40%)
履修上の注意 履修要件	「リスクマネジメント論」を合わせて履修することで、多面的な組織論の理解と応用につながる。
実践的教育	経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして教授することから、実践的教育に該当する。
備考欄	授業の遅刻や早退など出欠自由に関わる連絡は、クラスルームでの個人宛連絡及びメールアドレス宛に事前に連絡をお願いします。リフレクションシートでの上記連絡事項は無効とします。